

キャンプファイヤー



活動内容	静かな暗闇の中、仲間たちと大きな炎を囲みながら厳肅な雰囲気の中でつどいを行ったり、レクリエーションで親睦を深めたりする活動です。また、「迎火のつどい」では、小さな火から大きな炎へと燃え広がっていく様に、火の神秘的な雰囲気を感じることができます。
------	--

対象	必要時間	活動人数	活動形態
制限なし	15～30分(準備) 1. 5～2時間	集いの広場: 200名程度 運動広場: 200名程度 キャンプ広場: 100名程度	全体
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性: ◎ 創意工夫: ○ 主体・計画: ◎ 協調・協働: ○ 粘り強さ: ○ 人間関係: ◎
つどいの広場、運動広場 キャンプ広場	巡視・安全管理	3月～11月	

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」職員	
	事前	【打合】活動場所	【打合】活動場所	
		【準備】燭台設置、放送器具の点検、貸出物品の確認 【指導】井桁の組み方、火のつけ方、つどいの流れ、片付け方法の確認		
		16:30キャンプファイヤー準備参加（10名程度） 活動15分前：灯油の受け取り	16:30キャンプファイヤー準備指導 活動15分前：灯油の受け渡し	
	活動（例）	【集合】活動場所	団体の要望があったタイミングで投光器点灯 ※投光器が点くまでに少し時間がかかるので 早めに職員に連絡をする ※投光器の消灯	
①第一部「迎火のつどい」（20分） ・井桁への点火 ①第二部「交歓のつどい」（60分） ・レクリエーション、歌唱 ①第三部「送火のつどい」（20分） ・閉会 【解散】研修生は引率者の指示に従う				
事後	【片付】貸出物品の返却	【片付】貸出物品の受け取り		
	・活動後、水をかけて消火する ・消火後は、翌朝（朝のつどい）までに燃え残り及び灰を指定の場所に処理する ※集いの広場ではキャンプファイヤー台を元に戻す			

引率者の役割	・16:30から実施会場にて、活動準備を「玄海の家」職員と行う ・活動中は火傷や暗闇での転倒がないよう巡視を行い、有事の際は事務室へ連絡する ・貸出物品の受け渡し、管理を行い、破損、紛失等があった際は事務室へ連絡する ・活動後は消火し、翌朝(朝のつどい)までに灰を指定の場所に処理する
活動の留意点	・活動の安全上、風速が秒速4m以上の場合には実施できない ・レクリエーション等を行う際に、必要であれば投光器を点けることができる ・緊急時のために水を確保(ホース・バケツ)し、その場所を確認しておく
「玄海の家」で準備できるもの	火の長・女神の衣装、コードリール、ポータブルデッキ、マイク、ラジカセ、ホースまたはバケツ、資料(火の長の言葉、誓いの言葉、詩の朗読)、投光器(つどいの広場、運動広場で実施する場合のみ)、キャンプファイヤーセット4,600円(井桁用薪・丸太、点火用灯油)※トーチは含まれない
利用団体で準備するもの	軍手、トーチ、チャッカマン、音源CD等出しものに必要な物